

# 藤沢市 令和3年度事務事業評価シート(令和2年度分)

No. 1

事務事業名	オリンピック開催準備関係費										担当課	部課名	生涯学習部東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	004	説明	01	課等の長	赤坂 政徳	電話	6312

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 28 年度	終了(予定)年度	令和 4 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技が、藤沢市江の島で開催されることに伴い、市民参加型のオリンピック・パラリンピック競技大会の推進に向け、ボランティア等推進計画をはじめとした各種事業計画の実行、気運醸成事業の実施、開催準備等に係る関係機関等との協議・調整を行う。						
事業目的及び必要性	東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技の会場関連自治体として開催準備等を適切に行うとともに、大会の開催を好機と捉え、市民参加型のオリンピック・パラリンピック競技大会の推進を通じて、まちの魅力を創出することを目的としている。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等							
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 株式会社 電通東日本 ほか)						
	(委託等内容 : 「藤沢市大会関連ボランティア等実施計画」管理業務 ほか)						
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : セーリング国際大会実行委員会負担金 ほか)						
<input type="checkbox"/> その他 ( )							
藤沢市市政運営の総合指針2020				その他の計画との関連			
重点施策名		指針体系コード					
市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援		2-1-11		「生涯学習ふじさわプラン2021」 「スポーツ推進計画:みらいふじさわスポーツ元気プラン」 「藤沢市文化芸術振興計画」			
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
2020年のオリンピックに向けて活気づいていると感じますか		1.78 点	2.00 点	2.34 点	1.88 点		
		点	点	点	点		

令和2年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	報償費	440 千円	気運醸成事業出演謝礼
	委託料	75,586 千円	気運醸成事業, ボランティア運営 ほか
	使用料及び賃借料	686 千円	電子複写機, 軽自動車リース ほか
	負担金補助及び交付金	3,800 千円	セーリング国際大会負担金 ほか
121,283 千円	その他	40,771 千円	シティキャストフジサワユニフォーム, 旅費, 消耗品 ほか
【参考】 令和3年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額 (千円)	主な事業内容
	報償費	200 千円	気運醸成事業, 聖火リレー出演謝礼 ほか
	委託料	128,613 千円	気運醸成事業, ボランティア運営 ほか
	使用料及び賃借料	1,055 千円	電子複写機, 軽自動車リース ほか
	負担金補助及び交付金	15,869 千円	セーリング国際大会負担金, MRワクチン接種補助金 ほか
148,511 千円	その他	2,774 千円	装飾設置撤去作業手数料, 旅費, 消耗品 ほか

## 2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
常時勤務職員※	9.00	13.00	14.00	12.00 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00	0.00	0.00	0.00 人工
非常勤職員	1.00	2.00	3.00	
合計	10.00 人工	15.00 人工	17.00 人工	12.00 人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)				6.00 人
---------------	--	--	--	--------

3. 事業実施内容・成果

令和2年度 事業実施 内容		●ビッグウェーブ再集結！1年前オンラインまつり:932人 ●ふじさわセーリングフェスタ2020in江の島:20人 ●教えて！オリンピック・パラリンピックのちから:65人 ●2020応援団サポーターズミーティング:42人 ●スポGOMI大会in片瀬東浜:129人 ●合唱動画「みんなの歌をひとつに」オンライン録音会:60人 ●Tokyo 2020 100 Days to Go!オンラインライブイベント:5,810人 ●動画制作【藤沢市 観光PR動画】Stop Motion in FUJISAWA:再生回数1,055回 ●動画制作「セーリングがっつんぐもの～オーストラリア大使が語る江の島への思い～」:再生回数861回 ●動画制作「人間愛の金メダル」:再生回数751回 他27動画制作					
成果目標	指標名	単位	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	備考
	普及啓発事業の参加者数	人	1,500	2,500	5,000	7,000	
	動画配信の再生回数	回				10,000	令和2年度は、オンライン参加も想定
参考							
活動実績	指標名	単位	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	備考
	普及啓発事業実施数	人	27	40	43	12	
	配信動画制作数	個				30	
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	普及啓発事業の参加者数	人	2,471	2,707	5,537	7,058	
	動画配信の再生回数	回				10,169	令和2年度は、オンライン参加含む
数値で表せない効果							
展示会や各種イベント出展などのオープン参加事業の参加者数							

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
コスト	行政費用(フルコスト) A	120,348	204,823	245,207	244,524				
	(1)現金を伴う支出 (千円)	119,238	193,744	242,073	250,612				
	事業費(支出済額)	28,770	63,408	97,841	121,283				
	償還金利子	0	0	0	0				
	人件費合計(①+②+③)	90,468	130,336	144,232	129,329				
	①常時勤務職員等の給与等	82,971	119,171	127,974	108,180				
	②会計年度任用職員の報酬等	3,468	5,066	8,171	14,656				
	③退職金相当額	4,029	6,099	8,087	6,493				
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,110	11,079	3,134	-6,088				
	①減価償却費	0	0	0	0				
	②退職給与引当金繰入額	1,110	11,079	3,134	-6,088				
	③不納欠損額	0	0	0	0				
	④その他( )	0	0	0	0				
	行政収益(事業収入) B	8,675	14,484	13,713	12,832				
(3)現金を伴う収入 (千円)	8,675	14,484	13,713	12,832					
①分担金及び負担金 c	0	0	0	0					
②使用料及び手数料 d	0	0	0	0					
③国庫支出金	0	0	0	0					
④県支出金	8,675	14,484	13,713	12,832					
⑤その他( )	0	0	0	0					
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0					
収入未済増減額	0	0	0	0					
収支差額(純費用)A-B E	111,673	190,339	231,494	231,692					
分析指標	項目	普及啓発事業の参加者数 F	2,471	2,707	5,537	7,058			
	1単位あたりの総費用 A/F (円)	48,704.17	75,664.20	44,285.17	34,644.94				
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)	261.22	427,501	443.35	429,317	534.55	433,060	532.48	435,121
	受益者負担率 (C+D)/A (%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
	単位	人	人	人	人	人			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	東京2020大会延期に伴う、再調整とリスケジュール
(2) (1)解決のための令和2年度の取組	東京2020大会延期と、それに伴う組織委員会による安全安心や簡素化などの基本方針に基づき、各種事業について見直しを行い、大会関係者、関係機関との再協議・再調整、情報提供とともに、必要経費を含む事業の再構築を実施
(3) 令和2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症が収束しない中での大会準備・運営
(4) (3)解決のための今後の取組	安全安心な大会を実施するため、継続的に新型コロナウイルス感染症に関する情報収集と対策を検討

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	
	<input type="radio"/>	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外)
		イ=市の条例等で規定されている事業
		ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの
		エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの
		オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	
		ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの
		イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの
	<input type="radio"/>	ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの
	エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの	
	オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
(2) 財政的な特徴	③ 事業期間	
		ア=恒久的に実施するもの
		イ=年限の定めのないもの
		ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの
	<input type="radio"/>	エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの
		オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの
	④ 事業費…令和2年度支出済額	
	<input type="radio"/>	ア=300,000千円以上
		イ=100,000千円以上～300,000千円未満
		ウ=30,000千円以上～100,000千円未満
	エ=5,000千円以上～30,000千円未満	
	オ=5,000千円未満	
⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合		
<input type="radio"/>	ア=80%以上	
	イ=50～80%未満	
	ウ=30～50%未満	
	エ=10～30%未満	
	オ=10%未満	
⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合		
	ア=10%未満	
	イ=10～30%未満	
	ウ=30～50%未満	
<input type="radio"/>	エ=50～80%未満	
	オ=80%以上	

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
2. 市民等サービス(その他)	

## 7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、東京2020大会開催に関する動向が注視されている。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前キャンプの実施を断念する自治体が出ている。</li> </ul>	
市民ニーズ	把握方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会 1回開催</li> <li>・2020応援団 藤沢ビッグウェーブの活動 8回実施</li> <li>・各種イベントでの意見</li> </ul>
	把握内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京2020大会に関する情報が知りたい。</li> <li>・コロナ禍でも、自主的に活動を行いたい。</li> </ul>
	対応等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020応援団 藤沢ビッグウェーブを通じて情報提供を行った。</li> <li>・市民が独自に企画したボランティア活動を支援した。</li> </ul>

## 8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	<p>社会情勢を考慮した新しい生活様式に合わせ、100日前イベントを始め、オンラインを中心としたイベント開催や動画の配信を行うことで、継続的に市民参加の機会を提供し、モチベーションの維持につなげた。また、大会簡素化の方針に沿った各種事業の見直しと再構築を行い、費用を最小化した上で、最も効果的な大会開催への道筋を立てた。</p>	
	まちづくりテーマ	② 『2020年』に向けてまちの魅力を創出する
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	<p>大会開催年を迎え、最後の気運醸成を図るとともに、大会終了後にもつながるボランティア文化の土壌を作る。</p>	

## 9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
(1)④	東京オリンピック・パラリンピックに係る関係組織との連絡調整	無	無	3	3
(1)⑤	東京オリンピック・パラリンピックに係る各種啓発事業	無	無	3	3
(1)⑥	東京オリンピック・パラリンピックに係るボランティアの育成事業	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 10. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	オリンピック開催準備関係費(繰越分)										担当課	部課名	生涯学習部東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
												新部課名				
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	004	説明	01	課等の長	赤坂 政徳	電話	6312

1. 事業概要

事業開始年度	令和 元 年度	終了(予定)年度	令和 4 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	東京2020大会に関連する市の取組や市民参加の様子を記録する大会関連記録コンテンツを制作する。また、大会期間中、シティキャストフジサワが活動の拠点とするブースの設置・運営を行う。						
事業目的及び必要性	東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技の会場関連自治体として開催準備等を適切に行うとともに、市民の心に残る大会とするため、大会に関する記録を後世へ残す。						
対象	1. 個人	市民				435,121 人	
根拠法令等							
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 委 託 先 : 株式会社 ジェイコム湘南・神奈川 ほか )						
	( 委 託 等 内 容 : 東京2020大会関連記録コンテンツ制作 )						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : )						
<input type="checkbox"/> その他 ( )							
藤沢市市政運営の総合指針2020				その他の計画との関連			
重点施策名		指針体系コード					
市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援		2-1-11		「生涯学習ふじさわプラン2021」 「スポーツ推進計画:みらいふじさわスポーツ元気プラン」 「藤沢市文化芸術振興計画」			
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
2020年のオリンピックに向けて活気づいていると感じますか		点	点	2.34 点	1.88 点		
		点	点	点	点		

令和2年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費 目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	委託料	10,081 千円	大会関連記録コンテンツ制作, ボランティアブース運営
	10,081 千円		
【参考】 令和3年度 予算額	事業費節別内訳		
	費 目	予算額 (千円)	主な事業内容
	0 千円		

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
常時勤務職員※				0.50 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)				0.00 人工
非常勤職員				
合計	0.00 人工	0.00 人工	0.00 人工	0.50 人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く				
会計年度任用職員(配置数)				0.00 人

3. 事業実施内容・成果

令和2年度 事業実施 内容	●「藤沢市2020記録映像～コロナ禍からの再出発～【予告編】」:再生回数368回 ●「藤沢市2020記録映像～コロナ禍からの再出発～」:再生回数485回						
	指標名	単位	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	備考
成果目標	動画配信の再生回数	回				800	
	参考						
活動実績	指標名	単位	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	備考
	配信動画制作数	個				2	
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	動画配信の再生回数	回				853	
数値で表せない効果							
シティキャストフジサワが円滑に活動するための準備							

4. コスト分析

年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
コスト	行政費用(フルコスト) A			0	16,369		
	(1)現金を伴う支出 (千円)			0	14,860		
	事業費(支出済額)				10,081		
	償還金利子				0		
	人件費合計(①+②+③)			0	4,779		
	①常時勤務職員等の給与等				4,508		
	②会計年度任用職員の報酬等				0		
	③退職金相当額				271		
	(2)現金を伴わない支出 (千円)			0	1,509		
	①減価償却費				0		
	②退職給与引当金繰入額				1,509		
	③不納欠損額				0		
	④その他( )				0		
	行政収益(事業収入) B			0	0		
収入	(3)現金を伴う収入 (千円)			0	0		
	①分担金及び負担金 c				0		
	②使用料及び手数料 d				0		
	③国庫支出金				0		
	④県支出金				0		
	⑤その他( )				0		
(4)現金を伴わない収入 (千円)			0	0			
収入未済増減額				0			
収支差額(純費用) A-B E			0	16,369			
分析指標	項目	動画配信の再生回数 F			-	単位 853 単位 回	
	1単位あたりの総費用 A/F (円)				-	19,189.92	
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)			0.00	433,060	37.62	435,121
	受益者負担率 (C+D)/A (%)				-	0.00	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額  
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出  
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの  
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	令和元年度2月補正予算で計上したが、東京2020大会が1年延期となり、令和2年度へ繰越明許となった。
(2) (1)解決のための令和2年度の取組	東京2020大会の1年延期を受け、コロナ禍における市の取組や市民参加の様子を記録した。また、シティキャストトフジサワが拠点とするブースに関する事前準備を行った。
(3) 令和2年度末時点の課題	特になし
(4) (3)解決のための今後の取組	特になし

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	
	<input type="radio"/>	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外)
		イ=市の条例等で規定されている事業
		ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの
		エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの
		オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	
		ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの
		イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの
	<input type="radio"/>	ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの
	エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの	
	オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
(2) 財政的な特徴	③ 事業期間	
		ア=恒久的に実施するもの
		イ=年限の定めのないもの
		ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの
	<input type="radio"/>	エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの
		オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの
	④ 事業費…令和2年度支出済額	
		ア=300,000千円以上
		イ=100,000千円以上～300,000千円未満
	<input type="radio"/>	ウ=30,000千円以上～100,000千円未満
	エ=5,000千円以上～30,000千円未満	
	オ=5,000千円未満	
⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合		
<input type="radio"/>	ア=80%以上	
	イ=50～80%未満	
	ウ=30～50%未満	
	エ=10～30%未満	
	オ=10%未満	
⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合		
	ア=10%未満	
	イ=10～30%未満	
<input type="radio"/>	ウ=30～50%未満	
	エ=50～80%未満	
	オ=80%以上	

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
2. 市民等サービス(その他)	

## 7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、東京2020大会開催に関する動向が注視されている。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前キャンプの実施を断念する自治体が出ている。</li> </ul>	
市民ニーズ	把握方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会 1回開催</li> <li>・2020応援団 藤沢ビッグウェーブの活動 8回実施</li> <li>・各種イベントでの意見</li> </ul>
	把握内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京2020大会に関する情報が知りたい。</li> <li>・コロナ禍でも、自主的に活動を行いたい。</li> </ul>
	対応等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020応援団 藤沢ビッグウェーブを通じて情報提供を行った。</li> <li>・市民が独自に企画したボランティア活動を支援した。</li> </ul>

## 8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	<p>東京2020大会の1年延期を受け、コロナ禍における市の取組や市民参加の様子を記録した。また、シティキャストフジサワが拠点とするブースに関する事前準備を行った。</p>	
	まちづくりテーマ	② 『2020年』に向けてまちの魅力を創出する
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	<p>大会開催年を迎え、直前期における市の取組や市民参加の様子を記録するとともに、シティキャストフジサワが円滑な活動を行うための拠点となるブースの設置・運営を行う。</p>	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
(1)⑤	東京オリンピック・パラリンピックに係る各種啓発事業	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。  
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2021/8/10
----	-------	----	-------	-----	-----------